

豊岡市 — 合併前市町の歴史 最終回 旧豊岡市

平成17年4月1日、1市5町(豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町)が合併し、豊岡市が誕生しました。

合併までの各市町の歴史を振り返ってみましょう。今回は最終回です。

《問合せ》政策調整課 ☎21-9022

昭和25年4月、豊岡町・新田村・中筋村・五荘村が合併し「豊岡市」が誕生しました。また、昭和30年4月には奈佐村・港村が、昭和32年9月には神美村の一部が、昭和33年1月には日高町の一部が豊岡市となりました。

年月	主な出来事
昭和35年7月	市制10周年、市民体育館落成記念式典開催
昭和38年1月	豪雪のため災害救助法適用される
昭和40年2月	コウノトリ人工飼育の開始
昭和43年8月	佐野浄水場完成
昭和43年10月	総合市民グラウンド完成
昭和46年10月	市民会館完成
昭和57年4月	豊岡福祉会館開館
昭和62年7月	豊岡中核工業団地進出企業第1号操業開始
昭和63年5月	総合体育館完成
平成元年5月	コウノトリ保護増殖センターでひなが初誕生
平成4年10月	杞柳細工が国の「伝統的工芸品」に指定される
平成6年4月	円山川運動公園完成
平成8年6月	スペイン・アリカンテ市と姉妹都市提携
平成9年11月	駅前再開発ビル「アイティ」オープン
平成10年11月	新門山大橋開通
平成12年6月	コウノトリ文化館開館
平成16年10月	台風23号が襲来し、市内全域に多くの被害発生。災害救助法の適用を受ける

豊岡町役場(旧豊岡市役所)庁舎



昭和3年竣工。昭和25年4月に1町3村が合併し、豊岡市制を施行しました。昭和27年12月に3階部分を増築。

コウノトリ野生復帰に向けた取り組み

江戸時代、コウノトリは日本の至るところで見られる鳥でした。しかし、明治期の銃での乱獲や、第二次世界大戦後の農地のほ場整備・河川改修による湿地の消滅、そして農薬の大量使用で、昭和46年に野生最後の一羽が死に、日本の空からコウノトリは姿を消しました。ここ豊岡が最後の生息地でした。



▲大陸から飛来した野生コウノトリ ハチゴロウ



『兵庫県立コウノトリの郷公園提供』

平成元年、人工飼育開始から25年目、ついにコウノトリのヒナが誕生しました。野生復帰に向けての取り組みが始まりました。

日本を代表するかばんの産地



明治時代、柳行李にベルトをつけた『行李鞆』から始まったかばん産業は、その販売網と縫製技術を生かし、日本有数のかばん産地としての地位を築きました。市内には、かばん関係企業が集積した日本唯一の鞆団地を形成しています。

『未来への責任』

より魅力ある地域づくりを進めていくためには、1市5町の個性と魅力を共有し、合併を進めることが最も望ましいとの結論に達しました。

コウノトリ但馬空港が開港

但馬地域の高速交通の空白状態を1日も早く解消し、交通の利便性を高めるコンピューター空港として、平成6年5月18日に開港しました。



開港以来、北近畿唯一の空港として産業・観光振興、地域活性化に大きな役割を果たしています。

【表紙写真】 高橋認定こども園(但東町久畑)で、2~4歳児がクッキングを楽しみました。卒園する5歳児のお別れ会の準備です。キュウリ、ウィンナー、チーズの三品ピックに、ポテトサラダやデザートも…。おいしそうに出来上がりました！

●発行／豊岡市
☎07961231111
FAX2411004

●編集／政策調整部秘書広報課
FAX2411004
〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(支所)
・竹野 ☎5247-1111
・出石 ☎3111
・日高 ☎5442-1100
・城崎 ☎3210001
・但東 ☎5442-1100